

平成24年中の

交通事故発生状況

◆県内の交通事故死者数

142人(前年比-27人)

全国ワースト

11位

◆高齢者の死者数

68人(前年比-17人)

全国ワースト

11位

		発生件数	死者数	負傷者数
茨城県	平成24年	14,732件	142人	19,445人
	前年比	-278件	-27人	-102人
牛久市	平成24年	450件	2人	568人
	前年比	-12件	+1人	-24人

(資料提供：茨城県警察本部 平成24年12月31日現在)

◆県内の交通死亡事故の特徴

- ・年齢別では、高齢者(65歳以上)の死者数が68人で最も多く、全死者数の約5割(47.9%)。特に70歳代(34人)が最も多い。
- ・事故類型別では、「車両相互」が73人で最も多く、次いで「人対車両」46人、「車両単独」23人。「車両相互」では出会い頭、「人対車両」では横断中の事故が多い。
- ・原因別では、「わき見漫然運転」が52件と最多で、次いで「運転操作不適・優先通行妨害」が各15件、悪質違反(最高速度、右側通行、酒酔い、信号無視など)による死亡事故は19件で、前年から17件減少した。

高齢者は交通事故に注意！

昨年県内の交通死亡事故は減少しましたが、全死者のうち約半数(47.9%)は高齢者(65歳以上)が被害に遭っています。特に歩いて道路を横断中に被害に遭うことが最も多く、自転車を利用しての交差点での衝突事故も多く発生しました。



【運転者の方へ】

- ★歩行中や自転車利用中の高齢者を見つけたときは、安全な間隔を取り、スピードを抑えた「思いやり運転」を心掛けましょう。
- ★夜間、対向車や先行車がないときは、ライトを上向きにし、歩行者や自転車の早期発見に努めましょう。

【自転車・歩行者の方へ】

- ★急な横断や進路変更は危険です。遠回りでも横断歩道や歩道橋、自転車横断帯を利用しましょう。
- ★交差点では一時停止し、左右の安全を確かめましょう。
- ★薄暮時や夜間に歩行者が被害に遭っています。外出の際は、白色系の服装や反射材を活用し、ドライバーに自身の存在を知らせる工夫をしましょう。

道路凍結に注意！

スリップして、コントロールできない車は凶器化した鉄の塊です。平成24年1月から3月の降雪時によるスリップ事故は県内で124件(うち1人死亡、151人けが)発生しました。市内では8件発生し、9人がけがをしました。また、物損事故は県内で約1,200件、市内で89件発生しました。



普段より慎重な運転を心掛けましょう！

★安全な速度と車間距離を保つ

凍結時の制動距離は乾燥時の約4倍以上

★「急」のつく運転はしない

急ブレーキ・急ハンドル・急加速など

★予測運転

天候、気温から路面凍結を予測

★油断禁物

スタッドレスタイヤ、タイヤチェーンも万能ではありません。